



平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
 コード番号 2370 URL <https://www.medinet-inc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041
 定時株主総会開催予定日 平成29年12月21日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 平成29年12月21日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年9月期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	1,704	△10.8	△1,801	—	△1,745	—	△2,603	—
28年9月期	1,909	14.0	△1,681	—	△1,823	—	△1,643	—

（注）包括利益 29年9月期 △2,381百万円（-%） 28年9月期 △1,681百万円（-%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年9月期	△27.24	—	△46.0	△25.1	△105.7
28年9月期	△18.01	—	△25.2	△22.0	△88.0

（参考）持分法投資損益 29年9月期 -百万円 28年9月期 -百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期	6,265	5,480	86.9	50.28
28年9月期	7,646	5,931	77.0	63.51

（参考）自己資本 29年9月期 5,445百万円 28年9月期 5,886百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年9月期	△1,333	199	975	3,436
28年9月期	△1,088	430	440	3,594

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
30年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,970	15.6	△1,400	—	△1,384	—	△1,395	—	△12.88

※当社は第2四半期連結累計期間の業績予想を行っておりません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

29年9月期	108,318,323株	28年9月期	92,678,009株
29年9月期	一株	28年9月期	一株
29年9月期	95,575,568株	28年9月期	91,236,221株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成29年9月期の個別業績（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期	1,655	△10.6	△1,576	—	△1,592	—	△2,587	—
28年9月期	1,852	13.6	△1,470	—	△1,454	—	△1,759	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期	△27.07	—
28年9月期	△19.28	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
29年9月期	6,272	5,496	5,496	5,496	87.1	50.43	50.43	
28年9月期	7,633	5,931	5,931	5,931	77.1	63.52	63.52	

(参考) 自己資本 29年9月期 5,462百万円 28年9月期 5,886百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、平成29年11月16日(木)に機関投資家及び証券アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明資料については、東京証券取引所ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(平成28年10月1日から平成29年9月30日まで)において当社グループは、前連結会計年度より引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による新たな法的枠組みの下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めており、主な事業の成果は以下のとおりであります。

- ①茨城県立こども病院と細胞加工に係る業務を受託
- ②一般財団法人 健康医学協会と特定細胞加工物製造受託契約の締結
- ③株式会社ジーンテクノサイエンスと免疫細胞加工技術の開発・製造受託に関する契約を締結

当連結会計年度においては、このような事業環境の変化をビジネスチャンスと捉え、「細胞加工業」「バリューチェーン事業」「CDMO事業」の3つのビジネス領域拡大に向けて積極的な活動を展開したことにより堅調に推移した一方で、契約医療機関における患者数が減少したことにより、免疫細胞療法総合支援サービスの売上が前年同期に比べて減少したこと等が影響し、売上高は1,704百万円(前期比205百万円減、10.8%減)となりました。

損益面では、販売活動については、新たな事業展開に向けた営業強化のため、組織強化及び人材投入を図ったことにより、販売費は508百万円(前期比51百万円増、11.3%増)となりました。また、研究開発活動については、細胞医療製品の薬事承認取得による収益獲得に向けて、細胞医療製品事業の推進のための研究開発費が増加したことから、研究開発費は612百万円(前期比9百万円増、1.5%増)となりました。

以上の結果、販売費及び一般管理費は2,570百万円(前期比28百万円増、1.1%増)となり、営業損失は1,801百万円(前期は営業損失1,681百万円)となりました。

その他、受取利息24百万円(前期は受取利息39百万円)、投資事業組合運用損33百万円(前期は投資事業組合運用損11百万円)、為替差益81百万円(前期は為替差損159百万円)等の営業外損益により、経常損失は1,745百万円(前期は経常損失1,823百万円)となりました。また、貸倒引当金戻入益3百万円の特別利益があった一方で、固定資産の減損損失890百万円の特別損失の計上及び法人税等△31百万円により、親会社株主に帰属する当期純損失2,603百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失1,643百万円)となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①細胞加工業

細胞加工業については、細胞培養加工施設の設置・運営管理業務の受託や細胞加工の技術開発の受託等のバリューチェーン事業の受託案件数は増加した一方で、免疫細胞療法総合支援サービスの売上が前年同期に比べて減少したこと、治療開始の遅れ等による既存の大型医療機関からの特定細胞加工物製造に係る売上や予定していた新規の特定細胞加工受託案件がずれ込んだこと等により、売上高1,702百万円(前期比174百万円減、9.3%減)となりました。セグメント損失は、売上原価は減少したものの、営業強化のための販売費の増加もあり、462百万円(前期はセグメント損失374百万円)となりました。

②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、細胞医療製品につながるシーズ探索、技術の改良、知的財産権の確保等による研究開発や、当社グループで行っている研究開発の成果とともに、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探求しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得を視野に入れた活動も行っております。売上高は1百万円(前期比31百万円減、95.5%減)、セグメント損失は707百万円(前期はセグメント損失653百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,380百万円減少し、6,265百万円となりました。流動資産は4,052百万円と前連結会計年度末に比べ258百万円減少しており、主な要因は売掛金の減少88百万円、有価証券の減少200百万円です。固定資産は2,212百万円と前連結会計年度末に比べ1,122百万円減少しており、主な要因は、減損損失計上等にともなう有形固定資産の減少668百万円、無形固定資産の減少167百万円及び長期前払費用の減少403百万円、投資有価証券の増加273百万円、長期貸付金の減少159百万円によるものです。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べて929百万円減少し、785百万円となりました。そのうち流動負債は387百万円で前連結会計年度末に比べて858百万円減少しております。主な要因は、短期借入金の減少800百万円です。固定負債は398百万円と前連結会計年度末に比べて71百万円減少しており、主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の減少75百万円、リース債務の減少33百万円、繰延税金負債の増加44百万円です。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べて450百万円減少し、5,480百万円となりました。株主総会決議に基づく繰越利益剰余金の欠損填補の結果、資本金が963百万円、資本剰余金が8,191百万円減少し、利益剰余金が9,154百万円増加しており、このほかに、第三者割当増資及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が各々970百万円増加しております。一方で親会社株主に帰属する当期純損失により利益剰余金が2,603百万円減少しております。また、その他有価証券評価差額は221百万円増加し、新株予約権は10百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.0%から86.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて157百万円減少し、当連結会計年度末には3,436百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は1,333百万円(前期は1,088百万円の使用)となりました。

主な増加は、減価償却費320百万円、減損損失890百万円であり、主な減少は、税金等調整前当期純損失2,635百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって獲得した資金は199百万円(前期は430百万円の獲得)

主な支出は、有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出18百万円、資産除去債務の履行による支出23百万円であり、主な収入は、長期貸付金の回収による収入234百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって獲得した資金は975百万円(前期は440百万円の獲得)となりました。

主な内訳は、株式の発行による収入1,619百万円、新株予約権付社債の発行による収入290百万円、短期借入金の返済による支出800百万円です。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	第19期 平成26年9月期	第20期 平成27年9月期	第21期 平成28年9月期	第22期 平成29年9月期
自己資本比率(%)	85.0	80.3	77.0	86.9
時価ベースの自己資本比率(%)	209.6	169.2	191.5	221.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※ キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」及び「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による新たな事業環境のもと、細胞加工業においては、再生・細胞医療に取り組む製薬企業、大学、医療機関/研究機関等から、特定細胞加工物や再生医療等製品の製造を受託する「細胞加工業」や「CDMO事業」の更なる売上の拡大に加え、再生・細胞医療のコンサルティング、細胞培養加工施設の運営管理、細胞加工技術者の派遣・教育システムの提供等といった「バリューチェーン事業」の売上の拡大に注力する計画です。このような結果、売上高は前期比15.6%増の1,970百万円を見込んでおります。

一方、費用面については、主に新たな細胞医療製品のシーズ探索並びに、知的財産権の確保、治験実施に向けた開発体制の強化等の研究開発費や、企業、大学、医療機関/研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託の獲得に向けた営業力強化のための販売費等に費用を投じてまいります。

これらの状況を踏まえ、平成30年9月期通期の業績は、売上高1,970百万円（前期比15.6%増）、営業損失1,400百万円（前期は営業損失1,801百万円）、経常損失1,384百万円（前期は経常損失1,745百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失1,395百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失2,603百万円）となる見通しです。

今後の見通しをセグメント別に表すと以下のとおりです。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結予想額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,970	0	1,970	—	1,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,970	0	1,970	—	1,970
セグメント損失(△)	△260	△560	△820	△580	△1,400

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額580百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

なお、個別業績予想については、投資情報としての重要性が大きいと判断されるため記載を省略しております

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しておりますが、国際会計基準の適用時期は未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,494,270	2,536,654
売掛金	358,674	269,981
有価証券	1,100,000	900,000
原材料及び貯蔵品	60,414	44,919
その他	298,382	301,393
流動資産合計	4,311,742	4,052,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,942,060	1,478,411
減価償却累計額	△737,837	△774,813
建物及び構築物(純額)	1,204,222	703,597
機械及び装置	58,989	58,989
減価償却累計額	△58,989	△58,989
機械及び装置(純額)	0	—
リース資産	269,949	226,154
減価償却累計額	△106,365	△162,550
リース資産(純額)	163,583	63,603
建設仮勘定	26,089	21,482
その他	498,074	435,264
減価償却累計額	△422,183	△423,112
その他(純額)	75,890	12,152
有形固定資産合計	1,469,787	800,835
無形固定資産	265,199	97,744
投資その他の資産		
投資有価証券	432,917	706,682
長期貸付金	1,186,951	1,027,210
長期前払費用	403,074	—
貸倒引当金	△580,000	△576,250
その他	156,905	156,501
投資その他の資産合計	1,599,850	1,314,144
固定資産合計	3,334,836	2,212,724
資産合計	7,646,578	6,265,673

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当連結会計年度 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,894	77,403
短期借入金	800,000	—
リース債務	56,295	54,303
未払金	124,583	124,871
未払法人税等	34,789	19,756
賞与引当金	81,437	75,768
資産除去債務	—	4,818
その他	50,968	30,662
流動負債合計	1,245,968	387,584
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	75,000	—
リース債務	106,676	73,387
繰延税金負債	66,953	110,992
資産除去債務	210,410	207,253
その他	10,488	6,373
固定負債合計	469,528	398,007
負債合計	1,715,496	785,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,778,593	6,786,257
資本剰余金	8,191,153	970,786
利益剰余金	△9,154,581	△2,603,990
株主資本合計	5,815,165	5,153,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,004	292,697
その他の包括利益累計額合計	71,004	292,697
新株予約権	44,911	34,331
純資産合計	5,931,081	5,480,081
負債純資産合計	7,646,578	6,265,673

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	1,909,324	1,704,004
売上原価	1,048,647	934,886
売上総利益	860,676	769,118
販売費及び一般管理費	2,541,779	2,570,653
営業損失(△)	△1,681,103	△1,801,535
営業外収益		
受取利息	39,227	24,820
為替差益	—	81,645
設備賃貸料	7,542	7,542
その他	3,405	6,312
営業外収益合計	50,174	120,320
営業外費用		
支払利息	11,994	9,659
株式交付費	1,933	5,793
社債発行費等	758	9,715
為替差損	159,754	—
投資事業組合運用損	11,675	33,080
設備賃貸費用	6,711	6,000
その他	63	375
営業外費用合計	192,890	64,624
経常損失(△)	△1,823,818	△1,745,839
特別利益		
投資有価証券売却益	198,634	—
貸倒引当金戻入額	—	3,750
特別利益合計	198,634	3,750
特別損失		
固定資産除却損	537	788
減損損失	1,594	890,788
投資有価証券評価損	3,733	1,999
関係会社清算損	3,318	—
特別損失合計	9,183	893,576
税金等調整前当期純損失(△)	△1,634,366	△2,635,665
法人税、住民税及び事業税	10,904	11,133
法人税等調整額	△2,073	△43,113
法人税等合計	8,831	△31,979
当期純損失(△)	△1,643,198	△2,603,685
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,643,198	△2,603,685

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
当期純損失(△)	△1,643,198	△2,603,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,404	221,693
その他の包括利益合計	△38,404	221,693
包括利益	△1,681,603	△2,381,992
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,681,603	△2,381,992
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	6,566,093	7,978,653	△7,511,382	7,033,364
当期変動額				
新株の発行	212,500	212,500		425,000
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,643,198	△1,643,198
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	212,500	212,500	△1,643,198	△1,218,198
当期末残高	6,778,593	8,191,153	△9,154,581	5,815,165

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	109,408	109,408	30,518	7,173,291
当期変動額				
新株の発行				425,000
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△1,643,198
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△38,404	△38,404	14,392	△24,011
当期変動額合計	△38,404	△38,404	14,392	△1,242,210
当期末残高	71,004	71,004	44,911	5,931,081

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	6,778,593	8,191,153	△9,154,581	5,815,165
当期変動額				
新株の発行	970,786	970,786		1,941,573
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,603,685	△2,603,685
欠損填補	△963,123	△8,191,153	9,154,276	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	7,663	△7,220,366	6,550,590	△662,112
当期末残高	6,786,257	970,786	△2,603,990	5,153,052

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	71,004	71,004	44,911	5,931,081
当期変動額				
新株の発行				1,941,573
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△2,603,685
欠損填補				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	221,693	221,693	△10,580	211,113
当期変動額合計	221,693	221,693	△10,580	△450,999
当期末残高	292,697	292,697	34,331	5,480,081

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,634,366	△2,635,665
減価償却費	356,761	320,188
減損損失	1,594	890,788
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,438	△5,669
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△3,750
受取利息及び受取配当金	△41,368	△24,820
支払利息	11,994	9,659
投資有価証券評価損益(△は益)	3,733	1,999
投資有価証券売却損益(△は益)	△198,634	—
投資事業組合運用損益(△は益)	11,675	33,080
関係会社清算損益(△は益)	3,318	—
為替差損益(△は益)	148,680	△73,940
有形固定資産除却損	537	788
株式交付費	1,933	5,793
社債発行費等	758	9,715
社債償還損	—	375
売上債権の増減額(△は増加)	△56,133	88,693
たな卸資産の増減額(△は増加)	53,900	26,376
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,467	△20,490
未払金の増減額(△は減少)	△21,907	6,218
未払又は未収消費税等の増減額	149,520	△32,105
その他	131,035	82,976
小計	△1,092,873	△1,319,786
利息及び配当金の受取額	27,404	7,142
利息の支払額	△11,939	△9,333
法人税等の支払額	△10,689	△11,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,088,096	△1,333,145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,804	△2,473
無形固定資産の取得による支出	△40,587	△18,615
投資有価証券の売却による収入	247,126	—
関係会社の整理による収入	26,681	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	12,000	7,000
長期貸付けによる支出	△1,500	—
長期貸付金の回収による収入	204,875	234,202
資産除去債務の履行による支出	△6,150	△23,992
その他	4,627	3,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	430,269	199,714
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△800,000
株式の発行による収入	—	1,619,773
株式の発行による支出	△1,933	—
社債の償還による支出	—	△75,375
新株予約権付社債の発行による収入	490,469	290,284
新株予約権の発行による収入	11,490	17,500
リース債務の返済による支出	△59,728	△64,878
その他の支出	—	△11,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	440,297	975,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△217,530	△157,616
現金及び現金同等物の期首残高	3,811,801	3,594,270
現金及び現金同等物の期末残高	3,594,270	3,436,654

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、カテゴリーごとの区分管理をしており、「細胞加工業」及び「細胞医療製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「細胞加工業」は、免疫細胞療法総合支援サービス、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工の受託及び細胞加工施設の運営受託を含めたそれらの関連サービスを主に行っております。「細胞医療製品事業」は、細胞医療製品の製造・販売承認の取得のための研究開発を主に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,876,719	32,604	1,909,324	—	1,909,324
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,876,719	32,604	1,909,324	—	1,909,324
セグメント損失(△)	△374,018	△653,280	△1,027,298	△653,804	△1,681,103

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△653,804千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,702,523	1,481	1,704,004	—	1,704,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,702,523	1,481	1,704,004	—	1,704,004
セグメント損失(△)	△462,801	△707,420	△1,170,222	△631,313	△1,801,535

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△631,313千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
医療法人社団 滉志会	1,719,496	細胞加工業

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
医療法人社団 滉志会	1,594,107	細胞加工業

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

(単位:千円)

	細胞加工業	細胞医療製品事業	全社・消去	合計
減損損失	—	1,594	—	1,594

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

(単位:千円)

	細胞加工業	細胞医療製品事業	全社・消去	合計
減損損失	468,367	12,001	410,418	890,788

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり純資産額 63.51円	1株当たり純資産額 50.28円
1株当たり当期純損失金額(△) △18.01円	1株当たり当期純損失金額(△) △27.24円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成27年10月1日 至 平成28年9月30日)	当連結会計年度 (自 平成28年10月1日 至 平成29年9月30日)
1株当たり当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△1,643,198	△2,603,685
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	△1,643,198	△2,603,685
期中平均株式数(株)	91,236,221	95,575,568
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の 数1,025個、普通株式9,283,501 株)。	新株予約権2種類(新株予約権の 数7,344個、普通株式734,400 株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。